

遺伝子部門

【企画趣旨】

新型コロナウイルス感染症の検査において、核酸遺伝子検査の需要が急速に増加しています。これに伴い、これまで遺伝子検査を行ってこなかった施設も検査を導入し始めており、高い検査精度の確保が求められています。各施設では人材育成が進められてきたと思われます。2018年12月の医療法改正では、遺伝子・染色体検査を実施するには責任者の配置が必要となりました。この変化に伴い、遺伝子検査関連の資格認定試験への需要も急増しています。今回のシンポジウムでは、遺伝子関連の資格に焦点を当て、検査の精度向上を支援する一翼を担う意義について議論します。また、将来的にますます拡大するであろう遺伝子検査のニーズにも繋げていく展望についても考えていきたいと思えます。